

浜松企業に学ぶ日本企業の成功の DNA

「やрмаいか！日本！」



応募区分：中学

ID 番号：SL123106

学校名：静岡県立浜松西高等学校中等部

学年：3 年

チーム名：Hamamatsu West

リーダー：伊藤僚哉

メンバー：富田大輝、森下敦史、永田真理奈

指導教諭：北浦 崇（社会科）

投資銘柄一覧 (2012 年 1 月 4 日現在)

購入日	銘柄名	取得単価	取得株数	取得金額	終値	現在の株数	評価額(円)
11/11/30	3402 東レ (東証 1 部)	570	1,006	573,420	562	1,006	565,372
11/11/30	4021 日産化学工業 (東証 1 部)	712	291	207,192	759	291	220,869
11/11/30	4188 三菱ケミカルホールディングス (東証 1 部)	437	475	207,575	433	475	205,675
11/11/30	5333 日本碍子 (東証 1 部)	824	984	810,816	916	984	901,344
11/11/30	6501 日立製作所 (東証 1 部)	423	959	405,657	418	959	400,862

購入日	銘柄名	取得単価	取得株数	取得金額	終値	現在の株数	評価額(円)
11/11/30	6503 三菱電機 (東証 1 部)	712	986	702,032	758	986	747,388
11/11/30	6965 浜松ホトニクス (東証 1 部)	2,792	99	276,408	2,746	99	271,854
11/11/30	6971 京セラ (東証 1 部)	6,760	96	648,960	6,280	96	602,880
11/11/30	7012 川崎重工業 (東証 1 部)	194	1,020	197,880	196	1,020	199,920
11/11/30	7013 IHI (東証 1 部)	176	1,012	178,112	188	1,012	190,256

購入日	銘柄名	取得単価	取得株数	取得金額	終値	現在の株数	評価額(円)
11/11/30	7102 日本車輛製造 (東証 1 部)	293	945	276,885	297	945	280,665
11/11/30	7203 トヨタ自動車 (東証 1 部)	2,509	94	235,846	2,644	94	248,536
11/11/30	7267 本田技研工業 (東証 1 部)	2,389	91	217,399	2,443	91	222,313

要旨：

昨年の東日本大震災は、東日本に大きな被害をもたらし、日本経済にも大きなダメージをおよぼしました。円高の進行や少子高齢化による国内経済の縮小等、日本企業をとりまく状況は今後も困難が予想されます。

そのような中で、私達は、日本企業の強みは、技術力を活かしたものづくりによる付加価値の創出にあると考えています。

私達の住んでいる浜松地域は、「やらまいか精神」というチャレンジ精神でホンダ、スズキ、ヤマハ、浜松ホトニクスなどの世界企業が誕生してきた歴史を持つことから、私達にとって身近な浜松地域の歴史や風土、浜松地域で誕生した世界的企業を調べることで、日本企業の成功の DNA を見出し、その成功の DNA を有すると思われる企業を投資銘柄として選定することとしました。

目次：

1. テーマ設定について

2. 投資銘柄の選定方法

3. 投資銘柄の選定

4. 日経ストックリーグで学んだこと

参考文献

参考サイト

1. テーマ設定について

「やらまいか」という言葉をご存じでしょうか。「やらまいか」とは、遠州の方言で、「とにかくやってみよう」という意味です。浜松地域は、ホンダ、スズキ、ヤマハ、浜松ホトニクスなどの世界企業が誕生し、豊田佐吉さんや本田宗一郎さんの出身地として知られていますが、「やらまいか精神」は、困難や不可能に挑戦する際に、こうした企業や発明家のチャレンジ精神を示す言葉とされています。私達は、日本企業の強みは、ものづくりを通じた付加価値の創出にあると考えています。そこで、今回、日経 STOCK リーグに参加するに当たって、浜松の歴史と風土及び浜松企業の歴史を調べることで、日本企業の成功の DNA を見出したいと考えました。

浜松の歴史と風土



浜松の歴史を遡ると、徳川家康が浜松城を築城し、17 年間を過ごしています。三方ヶ原の戦いでは、無謀にも武田信玄に戦いを挑み、大敗を喫してしまいましたが、家康はこの戦いを生涯忘れず、教訓としたそうです。家康のこの時の気概は、浜松の「やらまいか精神」の源流なのかもしれません。

浜松藩は家康ゆかりの藩であることもあり、浜松城は出世城といわれ、江戸時代に 5 人の老中を輩出。藩主がよく変わり、その都度、各地の文化が伝わることで、よそ者を受け入れる風土が根付いたと言われています。

1912 年に鉄道院浜松工場が開業。初代浜松市長の鶴見信平氏が、鉄道院浜松工場（現 J R 東海浜松工場）誘致実現に大きく貢献し、全国から技術者が集まったことが、当時、軽工業中心であった浜松にとって、以降の産業発展に大きな意味をもたらしました。

1922 年には「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び、人類の豊かな未来と学術の発展に貢献することを基本理念のもとに浜松高等工業学校（現静岡大学工学部）が設立され、浜松地域の産業集積に重要な役割を担いました。

私達は、夏休み等を利用して、ものづくりの「やらまいか精神」を学ぶため、浜松地域にあるホンダ、トヨタ、スズキ、浜松ホトニクスの創業者の記念館や歴史館を訪ね、調べ学習を行い、成功への DNA を探りました。

ホンダ 「本田宗一郎ものづくり伝承館」を訪問（2011.7.30）



この伝承館は、本田宗一郎さんの故郷に、昨年作られた小さな会館です。館内には、幼い頃の面白いエピソードや開発秘話が展示されていました。

父親は、腕のいい鍛冶屋で、小さな仕事にも手を抜かない頑固一徹な人でした。

本田宗一郎さんも、よだれを垂れながら仕事をする程、仕事好きの人だったと語られています。自動車修理を行っていた当時、ピストンリングの開発に挑戦するも、専門知識がないためうまくいかず、浜松高等工業の聴講

生となり、専門知識を学んでいます。

伝承館では、プロジェクト X の「制覇せよ！世界最高峰レース “ホンダ” マン島・オートバイにかけた若者たち」が放映されていました。当時、「マン島を制する者は、世界のオートバイ市場を制する」と言われており、まだ無名だったホンダが、マン島のレースの制覇を目標に全力で取り組み、数年で目標を達成した物語でした。一人一人の社員が試行錯誤しながら、困難を克服していった過程がよくわかりました。

戦後、浜松出身の古橋広之進さん（私達の学校の大先輩です）が水泳で驚異的な世界記録を樹立したことは、敗戦で打ちひしがれていた日本中を熱狂させ、同郷の本田宗一郎さんの「やрмаいか精神」を大いに刺激したそうです。

本田宗一郎さんが技術開発を担当し、藤沢武夫さんがホンダの販売と財務を担当し役割を分担したことで、ホンダの経営が飛躍できたことは幸運なことだったと思います。戦後の浜松は、30 社以上のオートバイメーカーが群雄割拠しており、技術はあるものの、販売や財務の問題でつぶれていったメーカーが少なくなかったからです。

2 代目社長の河島喜好さん、3 代目社長の久米是志さんは、浜松高等工業学校（静岡大学工学部）の出身。

ホンダの DNA ホンダイズム＝未来志向の挑戦心

- ・夢を実現するバイタリティ 「仲間と夢を共有し、困難な目標に挑戦する」
- ・世界初を生み出す技術力 「成すことにより学べ」「創意工夫は苦し紛れの知恵」

「良いものを作る姿勢は誰よりも筋が通っていて素晴らしいと思った。幼少時代は怒られるようなことばかりしていたことを知り、僕も出世できるかもと身近に感じられた。（伊藤僚哉）」

スズキ スズキ歴史館を訪問（2011.7.31）



この歴史館は、スズキの創業から現代の車づくりの様子まで、スズキのものづくりが学べる会館となっています。

スズキ創業者の鈴木道雄さんは大工出身で、鈴木式織機やサロン織機を開発。

鈴木式織機は、先染糸を織る織機で、白生地用織機とは競合しない事業を展開。インドネシアなどに輸出しましたが、織機の耐久性が高かったため、買い換え需要がなく、新分野をオートバイ事業と軽自動車事業に模索することになりました。

小型自動車の研究は浜松高等工業学校出身者を中心とするメンバーで行われていました。

自動車製造のコストダウンのための不断の創意工夫の努力の一端を見ることができました。

スズキの DNA

- ・オンリーワン製品の開発
- ・差別化戦略

- ・ タイミングの良い転換と的確な判断
- ・ ものづくりの基本「少少軽短美」

「地域に根ざした地道な経営から成功した会社であることが分かった。常に次の時代に必要になるものを作り続けた確かな先見性が、現在のスズキの礎になっていることに感心した。(富田大輝)」

トヨタ 豊田佐吉記念館を訪問(2011.7.30)



この記念館では、豊田佐吉さんの生家と発明した織機を見ることができました。

大工の子として生まれ、西国立志編の影響を受け、母の機織りの様子を見て自動織機の発明を志しました。

豊田佐吉さんと長男の喜一郎さんが開発した G 型自動織機は、世界一の性能を認められ、特許を 10 万ポンドで英国のプラット社に売却。これを資金に国産自動車の研究開発が進められました。

トヨタの DNA

- ・ 「障子を開けてみよ 外は広いぞ」
- ・ 逆境に強い「志の高さ」と「ネバー・ギブ・アップ」
- ・ 「受け継ぐべきは受け継ぎ」、「変えるべきは変える」
- ・ 人と社会に奉仕する

「あきらめずに研究を続けたい限りは結果は残せないと分かった。人以上の努力が必要なのは勉強も同じだと自分に言いたいぐらいだ。(森下敦史)」

浜松ホトニクス 高柳記念未来技術創造館を訪問 (2011.11.12)



この創設館は、静岡大学工学部のキャンパス内にあり、ブラウン管に初めて映し出された「I」の文字や浜松ホトニクスによって開発されたカミオカンデの光センサなどを見ることができました。

また、ここでもプロジェクト X の「執念のテレビ 技術者魂 30 年の闘い」が放映されており、研究テーマを探していた高柳さんが、1923 年にフランスの雑誌の「未来のテレビジョン」という記事見たことから、テレビという一生を賭ける「夢」にたどりついたことが分かりました。1924 年、故郷に浜松高等工業学校（現・静岡大学

第 12 回日経 STOCK リーグ Team Hamamatsu West
工学部) が新設。高柳さんは同校に助教授として迎えられ、正式にテレビの研究を開始することになります。

浜松ホトニクス創業者の堀内平八郎さんは浜松高等工業学校に進学。電子工学の第一人者である高柳健次郎教授の門下生となり、多大なる影響を受けています。

浜松ホトニクスの DNA (高柳健次郎の DNA)

- ・先づ自らビジョンをもつこと：「10 年先、20 年先の技術はどう変わるかを見定める」
「幸運の女神は前髪しかない」
- ・人工天才：「一人の天才のひらめきより調和のとれた技術者集団の研究開発の方が成果は上がる」
- ・よい科学者、技術者である前により人間であれ

「高柳さんの精神を受け継いだ浜松ホトニクスがカミオカンデの大型光センサを開発し、それが 400 年ぶりの超新星爆発で放出されたニュートリノをとらえたことは奇跡的で感動しました。まさにこれが幸運の女神の前髪をつかむということなんだと思いました。(永田真理奈)」

私達が考える成功の DNA とは

私達は、上記の浜松の歴史・風土と各社の創業者の歴史を調べる中で、いくつか共通項があることを見つけました。

① 経営者の先見性と事業転換の決断力	過去の成功に縛られることなく、将来を見据えて思い切った事業転換を決断しています。
② 世界初に挑戦する技術者の不屈の創意工夫	技術者が不可能と思われる課題に取り組み、何度も限界を突破しています。
③ 開放的でバイタリティに富む	世界を見聞して視野を広めたり、人との出会いでチャンスをつかんでいます。
④ 競合会社との熾烈な競争	同業者間の熾烈な競争を通じて、短期間で進化しています。
⑤ 顧客を大切にしてブランド価値を高める	顧客のニーズをつかみ、製品開発に活かしています。
⑥ 海外市場を目指すグローバル展開	早い時期から世界市場を目指しています。

これからのグローバル市場で成功するには、成功の DNA のうち、特にイノベーションの力をグローバル対応に進化させていくことが不可欠だと考えました。

2. 投資銘柄の選定方法

私達は、日本企業の技術力を活かしたものづくりで、世界経済に貢献し、牽引してもらいたいと思っています。それは、私達の願いでもあります。そのため、長期的な視野で投資できる銘柄を選びたいと考えました。ものづくり投資銘柄の選定にあたり、次世代のものづくりのイノベーション力、海外への販売力を重視して、以下の項目を基準とすることにしました。

(1) 社是・経営理念等：イノベーション企業としての方向性

(2) 技術力：新事業のための技術＝有価証券報告書、HP、日経ビジネス「ニッポンの稼げる技術 100」、
日経新聞、日経会社情報を参照
有望な新事業への取り組みを確認

(3)経営力：収益性の指標として過去 5 年間の売上・営業利益・営業利益率の推移を確認

安定的な収益や利益を上げ続けている企業は、開発投資余力があるため望ましい。

(4)グローバル展開：グローバル展開力を見るため海外売上高を確認

放課後の時間を利用して日経新聞や資料を調査し、各自の推奨銘柄についてディスカッションを重ね、投資銘柄を選定した。

3. 投資銘柄の選定

3402 東レ

(1)社是等：	「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」 “Innovation by Chemistry”																								
(2)技術力：	・炭素繊維：ボーイング社やダイムラー社との協業で航空機、自動車等への普及を目指す。 ・淡水化技術 ・機能繊維：ユニクロと新市場を創出																								
(3)経営力：	<table><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (億円)</th><th>営業利益 (億円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>15,000</td><td>1,000</td><td>6.67%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>16,000</td><td>1,000</td><td>6.25%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>14,000</td><td>1,000</td><td>7.14%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>13,000</td><td>1,000</td><td>7.69%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>15,000</td><td>1,000</td><td>6.67%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	15,000	1,000	6.67%	2008年3月期	16,000	1,000	6.25%	2009年3月期	14,000	1,000	7.14%	2010年3月期	13,000	1,000	7.69%	2011年3月期	15,000	1,000	6.67%
期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	15,000	1,000	6.67%																						
2008年3月期	16,000	1,000	6.25%																						
2009年3月期	14,000	1,000	7.14%																						
2010年3月期	13,000	1,000	7.69%																						
2011年3月期	15,000	1,000	6.67%																						
(4)グローバル展開：	2011年 3 月期市場別売上高 <table><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>56%</td></tr><tr><td>中国</td><td>13%</td></tr><tr><td>その他アジア</td><td>17%</td></tr><tr><td>欧米等</td><td>14%</td></tr></tbody></table>	地域	割合 (%)	日本	56%	中国	13%	その他アジア	17%	欧米等	14%														
地域	割合 (%)																								
日本	56%																								
中国	13%																								
その他アジア	17%																								
欧米等	14%																								
<選定コメント>	高いイノベーション力で炭素繊維等の有望な素材事業を持つ。他社との提携を通じて炭素繊維の応用により、新事業が伸びていくことを期待。水処理膜による放射性物質の除去にも期待。																								

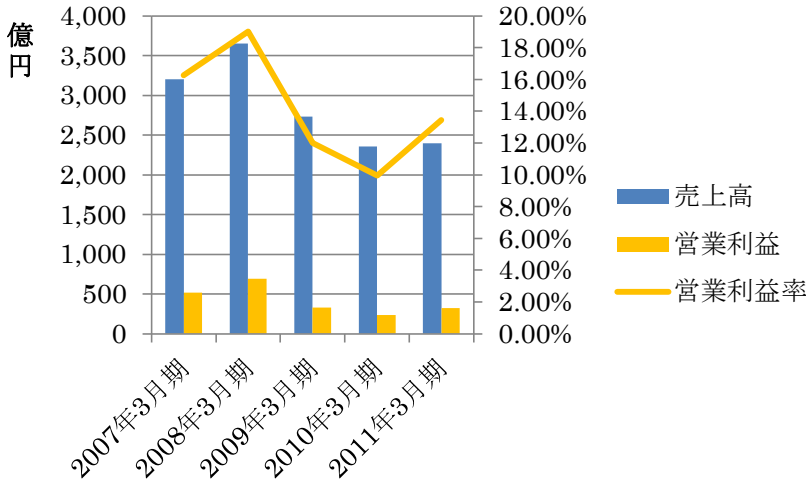
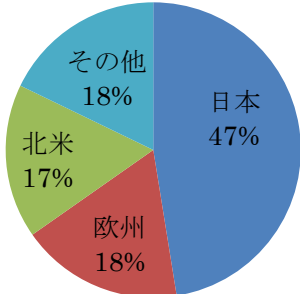
4021 日産化学工業

(1)社是等：	すぐれた技術と製品によって社会に貢献する 力をあわせてつねに新分野を開発し繁栄と福祉をはかる 創意と気迫に富み責任感あるものを尊重する																								
(2)技術力：	化学肥料発祥の化学会社として、長年培ってきた有機合成技術をベースに 農薬、医薬品などの研究に力を入れている。 ・水田用除草剤 ・抗高脂血症薬 ・血圧降下剤 ・液晶配向剤 ・半導体反射防止剤 ・新シリカゾル製品																								
(3)経営力：	<table><caption>2007年3月期～2011年3月期 売上高・営業利益・営業利益率</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>170,000</td><td>20,000</td><td>11.8%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>170,000</td><td>25,000</td><td>14.7%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>160,000</td><td>15,000</td><td>9.4%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>150,000</td><td>20,000</td><td>13.3%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>155,000</td><td>20,000</td><td>12.9%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	170,000	20,000	11.8%	2008年3月期	170,000	25,000	14.7%	2009年3月期	160,000	15,000	9.4%	2010年3月期	150,000	20,000	13.3%	2011年3月期	155,000	20,000	12.9%
期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	170,000	20,000	11.8%																						
2008年3月期	170,000	25,000	14.7%																						
2009年3月期	160,000	15,000	9.4%																						
2010年3月期	150,000	20,000	13.3%																						
2011年3月期	155,000	20,000	12.9%																						
(4)グローバル展開：	2011年3月期市場別売上高 <table><caption>2011年3月期市場別売上高</caption><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>72%</td></tr><tr><td>アジア等</td><td>23%</td></tr><tr><td>欧米等</td><td>5%</td></tr></tbody></table>	地域	割合 (%)	日本	72%	アジア等	23%	欧米等	5%																
地域	割合 (%)																								
日本	72%																								
アジア等	23%																								
欧米等	5%																								
<選定コメント>	除草剤・植物成長調整剤などの農薬分野の開発は、グローバル化の進む世界経済の中で、外国に負けない日本の農業を支える。 高齢化社会のなかで需要が高まる、医薬品の研究開発にも期待。																								

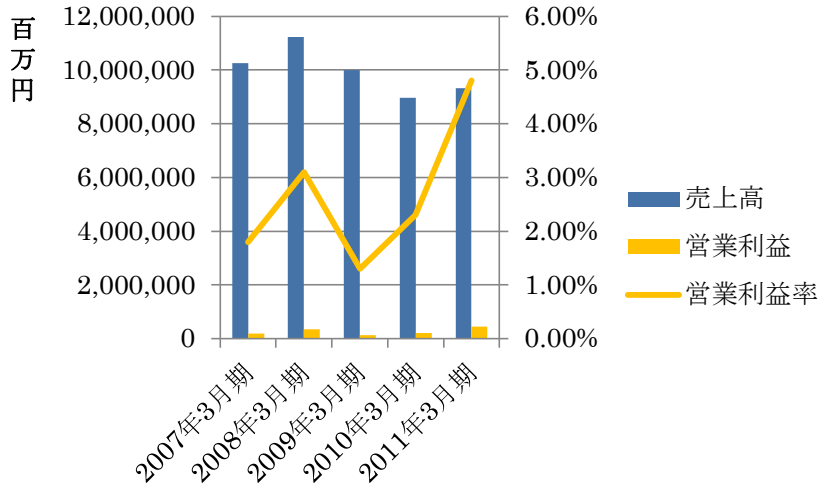
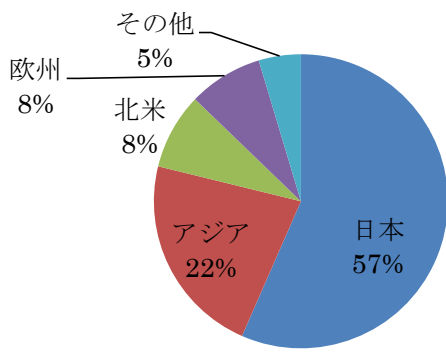
4188 三菱ケミカルホールディングス

(1)社是等：	” Good Chemistry for Tomorrow”																								
(2)技術力：	グループ内外の企業間で情報交換や共同研究を通じ、新技術の開発や改良に取り組む ・炭素繊維 ・有機薄膜太陽電池 ・リチウムイオン電池 ・人工光合成 ・ヘルスケア ・植物プラスチック ・次世代太陽電池 ・野菜を栽培する密閉型植物工場 ・液晶パネル用保護フィルム																								
(3)経営力：	<table><caption>2007年3月期～2011年3月期 売上高・営業利益・営業利益率</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (億円)</th><th>営業利益 (億円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>26,000</td><td>1,000</td><td>3.8%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>29,000</td><td>1,000</td><td>3.4%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>29,000</td><td>500</td><td>1.7%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>25,000</td><td>500</td><td>2.0%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>32,000</td><td>2,000</td><td>6.2%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	26,000	1,000	3.8%	2008年3月期	29,000	1,000	3.4%	2009年3月期	29,000	500	1.7%	2010年3月期	25,000	500	2.0%	2011年3月期	32,000	2,000	6.2%
期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	26,000	1,000	3.8%																						
2008年3月期	29,000	1,000	3.4%																						
2009年3月期	29,000	500	1.7%																						
2010年3月期	25,000	500	2.0%																						
2011年3月期	32,000	2,000	6.2%																						
(4)グローバル展開：	2011年3月期市場別売上高 <table><thead><tr><th>市場</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>66%</td></tr><tr><td>中国</td><td>10%</td></tr><tr><td>その他</td><td>24%</td></tr></tbody></table>	市場	割合 (%)	日本	66%	中国	10%	その他	24%																
市場	割合 (%)																								
日本	66%																								
中国	10%																								
その他	24%																								
<選定コメント>	化学の広い範囲でのイノベーション力を持つ企業。炭素繊維をはじめ、リチウムイオン電池や人工光合成等、多くの有望技術がある。																								

5333 日本ガイシ

(1)社是等：	日本ガイシはより良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造する。																								
(2)技術力：	ファインセラミックスを中心とした技術をベースに研究開発に積極的に資源投入  ・ NAS 電池 ・ 大規模電力貯蔵システム																								
(3)経営力：	<table><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (億円)</th><th>営業利益 (億円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>3,200</td><td>500</td><td>15.6%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>3,700</td><td>650</td><td>17.6%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>2,800</td><td>350</td><td>12.5%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>2,400</td><td>250</td><td>10.4%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>2,400</td><td>350</td><td>14.6%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	3,200	500	15.6%	2008年3月期	3,700	650	17.6%	2009年3月期	2,800	350	12.5%	2010年3月期	2,400	250	10.4%	2011年3月期	2,400	350	14.6%
期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	3,200	500	15.6%																						
2008年3月期	3,700	650	17.6%																						
2009年3月期	2,800	350	12.5%																						
2010年3月期	2,400	250	10.4%																						
2011年3月期	2,400	350	14.6%																						
(4)グローバル展開：	2011年3月期市場別売上高 <table><thead><tr><th>市場</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>47%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>18%</td></tr><tr><td>北米</td><td>17%</td></tr><tr><td>その他</td><td>18%</td></tr></tbody></table>	市場	割合 (%)	日本	47%	欧州	18%	北米	17%	その他	18%														
市場	割合 (%)																								
日本	47%																								
欧州	18%																								
北米	17%																								
その他	18%																								
<選定コメント>	NAS 電池を世界で唯一量産している。火災問題が懸念されるが、将来有望な事業と期待。																								

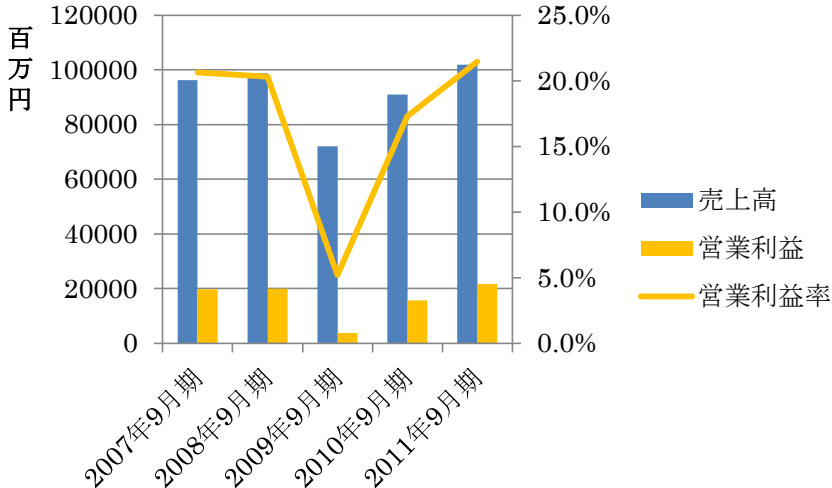
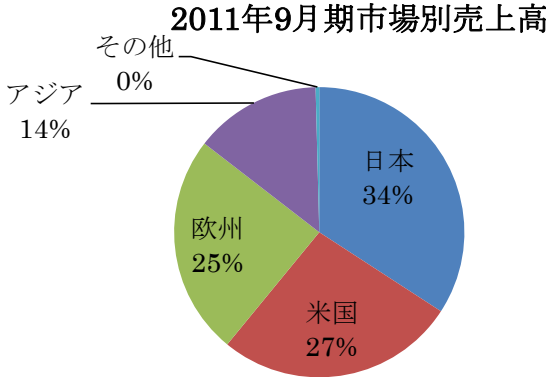
6501 日立製作所

(1)社是等：	日立製作所は、その創業の精神である"和"、"誠"、"開拓者精神"をさらに高揚させ、日立人としての誇りを堅持し、優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献することを基本理念とする。																								
(2)技術力：	グローバルな成長加速のため、海外の研究開発拠点を拡充、現地のニーズに迅速に対応できる体制の推進を図る。 ・アモルファスモーター ・人間共生ロボット ・超高効率な石炭火力発電・大規模監視システム ・映像検索技術																								
(3)経営力：	<table><caption>2007年3月期～2011年3月期 売上高・営業利益・営業利益率 (百万円・%)</caption><thead><tr><th>期間</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>10,200,000</td><td>200,000</td><td>1.96%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>11,200,000</td><td>600,000</td><td>5.36%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>10,000,000</td><td>200,000</td><td>2.00%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>8,800,000</td><td>400,000</td><td>4.55%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>9,500,000</td><td>900,000</td><td>9.47%</td></tr></tbody></table>	期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	10,200,000	200,000	1.96%	2008年3月期	11,200,000	600,000	5.36%	2009年3月期	10,000,000	200,000	2.00%	2010年3月期	8,800,000	400,000	4.55%	2011年3月期	9,500,000	900,000	9.47%
期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	10,200,000	200,000	1.96%																						
2008年3月期	11,200,000	600,000	5.36%																						
2009年3月期	10,000,000	200,000	2.00%																						
2010年3月期	8,800,000	400,000	4.55%																						
2011年3月期	9,500,000	900,000	9.47%																						
(4)グローバル展開：	<table><caption>2011年3月期市場別売上高</caption><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>57%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>22%</td></tr><tr><td>北米</td><td>8%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>8%</td></tr><tr><td>その他</td><td>5%</td></tr></tbody></table>	地域	割合 (%)	日本	57%	アジア	22%	北米	8%	欧州	8%	その他	5%												
地域	割合 (%)																								
日本	57%																								
アジア	22%																								
北米	8%																								
欧州	8%																								
その他	5%																								
<選定コメント>	10 年先、20 年先の技術開発。持続可能な社会を目指す社会イノベーション事業を推進。																								

6503 三菱電機

(1)社是等：	三菱電機グループは、技術、サービス、創造力の向上を図り、活力とゆとりある社会の実現に貢献する。 "Changes for the Better"																								
(2)技術力：	広範かつ先進的な研究開発活動をワールドワイドで展開 ・次世代パワー半導体 ・球体有機 EL ディスプレー ・宇宙船の制御技術 ・人工光合成 ・電波望遠鏡「アルマ」																								
(3)経営力：	<table><caption>2007年3月期～2011年3月期 売上高・営業利益・営業利益率</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>3,800,000</td><td>200,000</td><td>5.3%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>4,000,000</td><td>250,000</td><td>6.3%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>3,600,000</td><td>100,000</td><td>2.8%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>3,300,000</td><td>50,000</td><td>1.5%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>3,600,000</td><td>250,000</td><td>6.9%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	3,800,000	200,000	5.3%	2008年3月期	4,000,000	250,000	6.3%	2009年3月期	3,600,000	100,000	2.8%	2010年3月期	3,300,000	50,000	1.5%	2011年3月期	3,600,000	250,000	6.9%
期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	3,800,000	200,000	5.3%																						
2008年3月期	4,000,000	250,000	6.3%																						
2009年3月期	3,600,000	100,000	2.8%																						
2010年3月期	3,300,000	50,000	1.5%																						
2011年3月期	3,600,000	250,000	6.9%																						
(4)グローバル展開：	<table><caption>2011年3月期市場別売上高</caption><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>66%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>17%</td></tr><tr><td>北米</td><td>7%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>8%</td></tr><tr><td>その他</td><td>2%</td></tr></tbody></table>	地域	割合 (%)	日本	66%	アジア	17%	北米	7%	欧州	8%	その他	2%												
地域	割合 (%)																								
日本	66%																								
アジア	17%																								
北米	7%																								
欧州	8%																								
その他	2%																								
<選定コメント>	宇宙開発を含め、高度な技術力を持つ。国際宇宙ステーションへの宅配便 HTV の軌道を制御する電気モジュールを開発。																								

6965 浜松ホトニクス

(1)社是等：	「絶対真理への挑戦」 光の研究と、それを基盤とした製品開発を通じて、光の本質を追究する。 光を通じて絶対真理とは何かを探るために、いまだ解き明かされていない領域を探索する。そして、そこから生まれる新しい知識にもとづいた応用の可能性をもとに、新しい産業を創成する。 未知未踏を追求する精神。																									
(2)技術力：	独自の光技術を駆使し、新製品、新産業の創成を目指した開発を推進  ・次世代ニュートリノ検出用光センサ ・検出器では、世界屈指の技術を持つ																									
(3)経営力：	<table><caption>売上高・営業利益・営業利益率 (2007年9月期～2011年9月期)</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年9月期</td><td>95,000</td><td>20,000</td><td>21.1%</td></tr><tr><td>2008年9月期</td><td>95,000</td><td>20,000</td><td>21.1%</td></tr><tr><td>2009年9月期</td><td>70,000</td><td>5,000</td><td>7.1%</td></tr><tr><td>2010年9月期</td><td>90,000</td><td>15,000</td><td>16.7%</td></tr><tr><td>2011年9月期</td><td>100,000</td><td>20,000</td><td>20.0%</td></tr></tbody></table>		期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年9月期	95,000	20,000	21.1%	2008年9月期	95,000	20,000	21.1%	2009年9月期	70,000	5,000	7.1%	2010年9月期	90,000	15,000	16.7%	2011年9月期	100,000	20,000	20.0%
期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																							
2007年9月期	95,000	20,000	21.1%																							
2008年9月期	95,000	20,000	21.1%																							
2009年9月期	70,000	5,000	7.1%																							
2010年9月期	90,000	15,000	16.7%																							
2011年9月期	100,000	20,000	20.0%																							
(4)グローバル展開：	<table><caption>2011年9月期市場別売上高</caption><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>34%</td></tr><tr><td>米国</td><td>27%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>25%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>14%</td></tr><tr><td>その他</td><td>0%</td></tr></tbody></table>		地域	割合 (%)	日本	34%	米国	27%	欧州	25%	アジア	14%	その他	0%												
地域	割合 (%)																									
日本	34%																									
米国	27%																									
欧州	25%																									
アジア	14%																									
その他	0%																									
<選定コメント>	独創的な技術力を持っており、海外からの信頼も高い。 大阪大学、トヨタとのレーザー核融合の共同研究に期待。																									

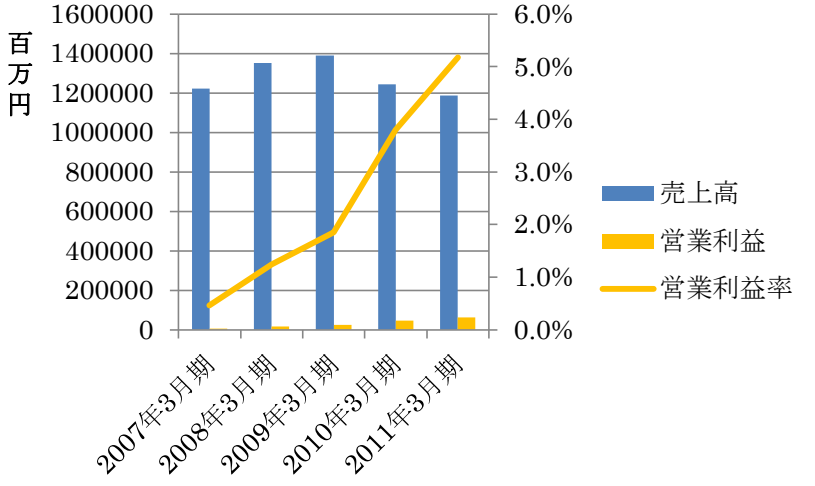
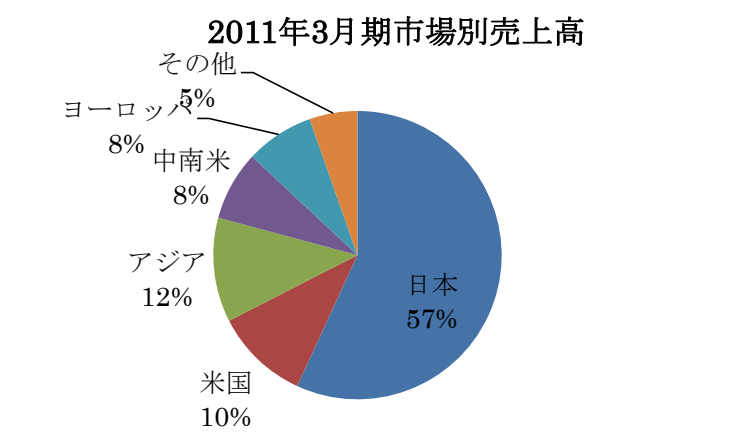
6971 京セラ

(1)社是等：	「敬天愛人」 全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること。																								
(2)技術力：	ファインセラミック技術等による新製品開発、新市場創造に取り組む。 ・ 半導体セラミックパッケージ部品 ・ 薄膜型太陽電池 ・ SOFC 燃料電池のセル																								
(3)経営力：	億円 <table><caption>2007年3月期～2011年3月期 売上高・営業利益・営業利益率</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (億円)</th><th>営業利益 (億円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>12,800</td><td>1,200</td><td>9.4%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>12,800</td><td>1,500</td><td>11.7%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>11,200</td><td>400</td><td>3.6%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>10,800</td><td>600</td><td>5.6%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>12,800</td><td>1,500</td><td>11.7%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	12,800	1,200	9.4%	2008年3月期	12,800	1,500	11.7%	2009年3月期	11,200	400	3.6%	2010年3月期	10,800	600	5.6%	2011年3月期	12,800	1,500	11.7%
期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	12,800	1,200	9.4%																						
2008年3月期	12,800	1,500	11.7%																						
2009年3月期	11,200	400	3.6%																						
2010年3月期	10,800	600	5.6%																						
2011年3月期	12,800	1,500	11.7%																						
(4)グローバル展開：	2011年3月期市場別売上高 <table><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>44%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>17%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>17%</td></tr><tr><td>米国</td><td>17%</td></tr><tr><td>その他</td><td>5%</td></tr></tbody></table>	地域	割合 (%)	日本	44%	欧州	17%	アジア	17%	米国	17%	その他	5%												
地域	割合 (%)																								
日本	44%																								
欧州	17%																								
アジア	17%																								
米国	17%																								
その他	5%																								
<選定コメント>	住宅用太陽電池システムを業界で初めて発売した。太陽電池売上高が国内 2 位。太陽電池の競争力強化に期待。																								

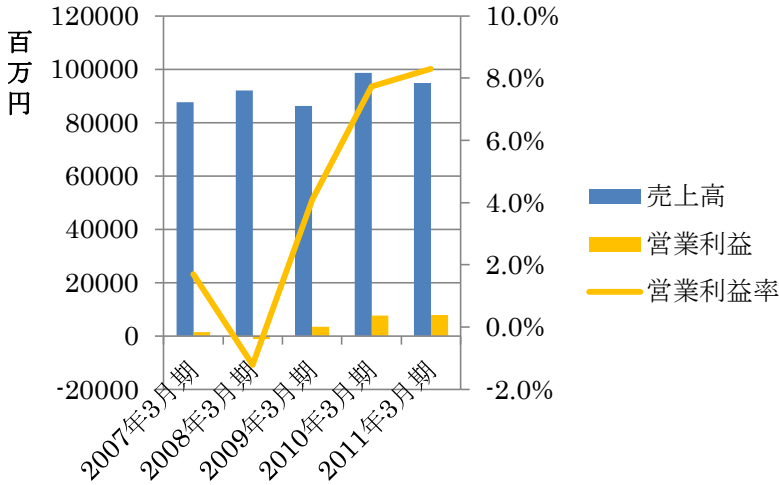
7012 川崎重工業

(1)社是等：	「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する」 “Global Kawasaki”																									
(2)技術力：	多様な事業部門を持ち、次世代の技術基盤の育成・強化に注力 ・船舶のハイブリッド給電装置 ・iPS 細胞の自動培養装置																									
(3)経営力：	<table border="1"><caption>2007年3月期～2011年3月期 売上高・営業利益・営業利益率</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>1,450,000</td><td>80,000</td><td>5.5%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>1,500,000</td><td>80,000</td><td>5.3%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>1,350,000</td><td>20,000</td><td>1.5%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>1,180,000</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>1,230,000</td><td>50,000</td><td>4.1%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	1,450,000	80,000	5.5%	2008年3月期	1,500,000	80,000	5.3%	2009年3月期	1,350,000	20,000	1.5%	2010年3月期	1,180,000	0	0.0%	2011年3月期	1,230,000	50,000	4.1%	
期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																							
2007年3月期	1,450,000	80,000	5.5%																							
2008年3月期	1,500,000	80,000	5.3%																							
2009年3月期	1,350,000	20,000	1.5%																							
2010年3月期	1,180,000	0	0.0%																							
2011年3月期	1,230,000	50,000	4.1%																							
(4)グローバル展開：	<table border="1"><caption>2011年3月期市場別売上高</caption><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>46%</td></tr><tr><td>米国</td><td>19%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>18%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>7%</td></tr><tr><td>その他</td><td>10%</td></tr></tbody></table>		地域	割合 (%)	日本	46%	米国	19%	アジア	18%	欧州	7%	その他	10%												
地域	割合 (%)																									
日本	46%																									
米国	19%																									
アジア	18%																									
欧州	7%																									
その他	10%																									
<選定コメント>	ボーイング 787 の胴体構造部位で、世界で初めて全複合材製の一体成形技術を採用し、機体の大幅な軽量化に貢献。 iPS 細胞への貢献にも期待。																									

7012IHI

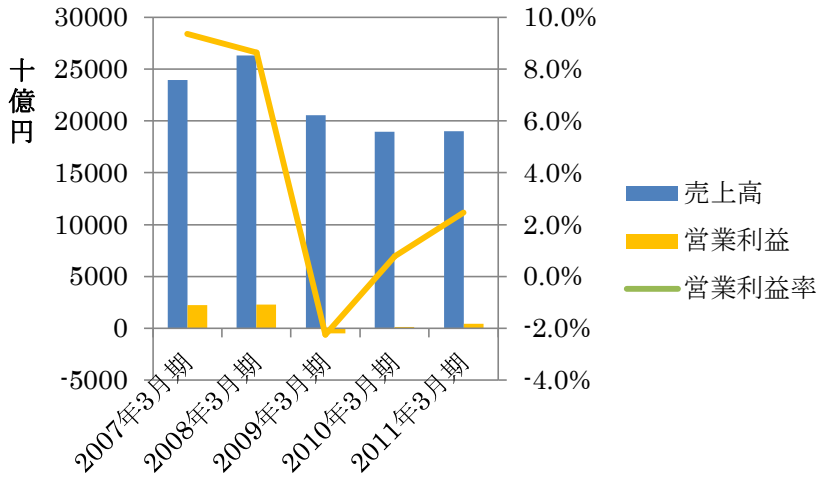
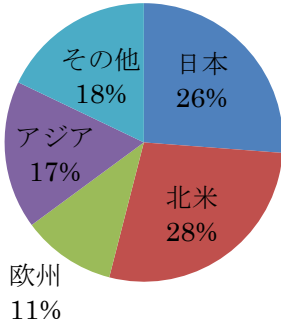
(1)社是等：	IHI グループの目指す姿 21 世紀の環境、エネルギー、産業・社会基盤における諸問題を、ものづくり技術の中核とするエンジニアリング力によって解決し、地球と人類に豊かさと安全・安心を提供するグローバルな企業グループとなる。																								
(2)技術力：	・ 褐炭ガス化技術 ・ エコシップ「ホエールバックバウ」「二重反転プロペラ」 ・ 藻類バイオ燃料技術																								
(3)経営力：	<table><caption>売上高・営業利益・営業利益率 (2007年3月期～2011年3月期)</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>1,200,000</td><td>100,000</td><td>0.8%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>1,350,000</td><td>150,000</td><td>1.1%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>1,400,000</td><td>200,000</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>1,250,000</td><td>400,000</td><td>3.2%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>1,200,000</td><td>600,000</td><td>5.0%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	1,200,000	100,000	0.8%	2008年3月期	1,350,000	150,000	1.1%	2009年3月期	1,400,000	200,000	1.4%	2010年3月期	1,250,000	400,000	3.2%	2011年3月期	1,200,000	600,000	5.0%
期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	1,200,000	100,000	0.8%																						
2008年3月期	1,350,000	150,000	1.1%																						
2009年3月期	1,400,000	200,000	1.4%																						
2010年3月期	1,250,000	400,000	3.2%																						
2011年3月期	1,200,000	600,000	5.0%																						
(4)グローバル展開：	<table><caption>2011年3月期市場別売上高</caption><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>57%</td></tr><tr><td>米国</td><td>10%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>12%</td></tr><tr><td>ヨーロッパ</td><td>8%</td></tr><tr><td>その他</td><td>5%</td></tr></tbody></table>	地域	割合 (%)	日本	57%	米国	10%	アジア	12%	ヨーロッパ	8%	その他	5%												
地域	割合 (%)																								
日本	57%																								
米国	10%																								
アジア	12%																								
ヨーロッパ	8%																								
その他	5%																								
<選定コメント>	IHI の技術が東京スカイツリーの建設に貢献。 国産ロケット H-II B の大型固体ブースターの開発を担当。																								

7102 日本車輛製造

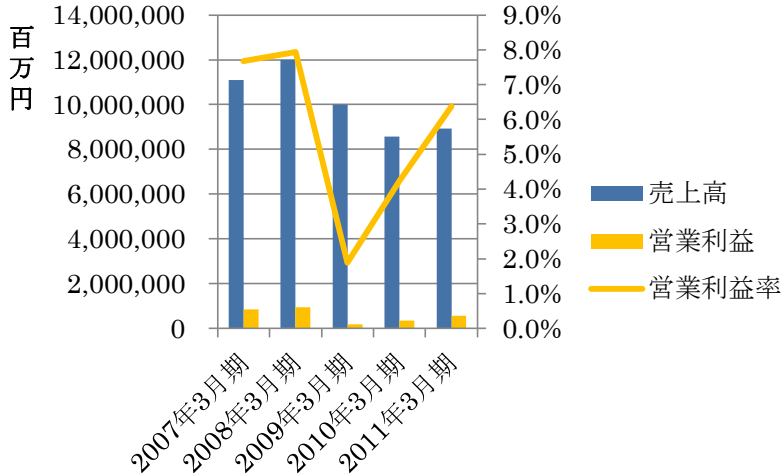
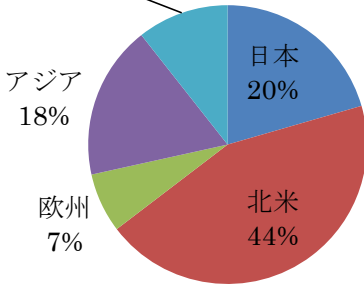
(1)社是等：	産業の高度化と社会資本の充実に役立つ製品を提供し、より豊かな人間環境づくりをめざします。																									
(2)技術力：	・ リニアモーターカーの車体製造 ・ N700 系新幹線車両の開発 																									
(3)経営力：	<table><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>88,000</td><td>10,000</td><td>1.1%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>92,000</td><td>10,000</td><td>1.1%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>88,000</td><td>10,000</td><td>1.1%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>100,000</td><td>10,000</td><td>1.0%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>95,000</td><td>10,000</td><td>1.1%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	88,000	10,000	1.1%	2008年3月期	92,000	10,000	1.1%	2009年3月期	88,000	10,000	1.1%	2010年3月期	100,000	10,000	1.0%	2011年3月期	95,000	10,000	1.1%	
期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																							
2007年3月期	88,000	10,000	1.1%																							
2008年3月期	92,000	10,000	1.1%																							
2009年3月期	88,000	10,000	1.1%																							
2010年3月期	100,000	10,000	1.0%																							
2011年3月期	95,000	10,000	1.1%																							
(4)グローバル展開：	連結売上高の 90%超が国内売上																									
<選定コメント>	リニア中央新幹線の営業車両の製造が見込まれる。山梨県で見たリニアモーターカーの試験走行に感動。																									

7203 トヨタ自動車

(1)社是等：	1.内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす 2.各国、各地域の文化、慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する 3.クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
---------	---

	4.様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する 5.労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる 6.グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす 7.開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する																								
(2)技術力：	高品質、低コストで世界のお客様のニーズに応えるため、グローバルな開発体制を構築し、積極的な研究開発活動を実施  ・自社ブランドの軽自動車を発売 ・プラグインハイブリッド車 ・衝突回避テクノロジー ・全個体電池																								
(3)経営力：	<table><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (十億円)</th><th>営業利益 (十億円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>24,000</td><td>2,000</td><td>8.3%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>26,000</td><td>2,000</td><td>7.7%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>20,000</td><td>-1,000</td><td>-5.0%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>19,000</td><td>6,000</td><td>3.2%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>19,000</td><td>11,000</td><td>5.8%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (十億円)	営業利益 (十億円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	24,000	2,000	8.3%	2008年3月期	26,000	2,000	7.7%	2009年3月期	20,000	-1,000	-5.0%	2010年3月期	19,000	6,000	3.2%	2011年3月期	19,000	11,000	5.8%
期	売上高 (十億円)	営業利益 (十億円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	24,000	2,000	8.3%																						
2008年3月期	26,000	2,000	7.7%																						
2009年3月期	20,000	-1,000	-5.0%																						
2010年3月期	19,000	6,000	3.2%																						
2011年3月期	19,000	11,000	5.8%																						
(4)グローバル展開：	2011年3月期市場別売上高 <table><thead><tr><th>市場</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本</td><td>26%</td></tr><tr><td>北米</td><td>28%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>11%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>17%</td></tr><tr><td>その他</td><td>18%</td></tr></tbody></table>	市場	割合 (%)	日本	26%	北米	28%	欧州	11%	アジア	17%	その他	18%												
市場	割合 (%)																								
日本	26%																								
北米	28%																								
欧州	11%																								
アジア	17%																								
その他	18%																								
<選定コメント>	トヨタの DNA をさらに進化させ続けるものづくり企業。ハイブリッドカー「プリウスα」「アクア」の販売が好調。																								

7267 本田技研工業

(1)社是等：	わたしたちは、地球的視野に立ち、世界中の顧客の満足のために、質の高い商品を適正な価格で供給することに全力を尽くす。 運営方針： ・常に夢と若さを保つこと。 ・理論とアイデアと時間を尊重すること。 ・仕事を愛しコミュニケーションを大切にすること。 ・調和のとれた仕事の流れを つくり上げること。 ・不断の研究と努力を忘れないこと。																								
(2)技術力：	先進の技術により個性的で国際競争力のある製品を生み出す。  ・ホンダジェット ・リズム歩行アシスト ・燃料電池車																								
(3)経営力：	<table><caption>2007年3月期～2011年3月期 売上高・営業利益・営業利益率</caption><thead><tr><th>期</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th><th>営業利益率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2007年3月期</td><td>11,000,000</td><td>1,000,000</td><td>9.1%</td></tr><tr><td>2008年3月期</td><td>12,000,000</td><td>1,000,000</td><td>8.3%</td></tr><tr><td>2009年3月期</td><td>10,000,000</td><td>200,000</td><td>2.0%</td></tr><tr><td>2010年3月期</td><td>8,500,000</td><td>200,000</td><td>2.4%</td></tr><tr><td>2011年3月期</td><td>9,000,000</td><td>1,000,000</td><td>11.1%</td></tr></tbody></table>	期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)	2007年3月期	11,000,000	1,000,000	9.1%	2008年3月期	12,000,000	1,000,000	8.3%	2009年3月期	10,000,000	200,000	2.0%	2010年3月期	8,500,000	200,000	2.4%	2011年3月期	9,000,000	1,000,000	11.1%
期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益率 (%)																						
2007年3月期	11,000,000	1,000,000	9.1%																						
2008年3月期	12,000,000	1,000,000	8.3%																						
2009年3月期	10,000,000	200,000	2.0%																						
2010年3月期	8,500,000	200,000	2.4%																						
2011年3月期	9,000,000	1,000,000	11.1%																						
(4)グローバル展開：	<table><caption>2011年 3 月期市場別売上高</caption><thead><tr><th>地域</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>北米</td><td>44%</td></tr><tr><td>日本</td><td>20%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>18%</td></tr><tr><td>欧州</td><td>7%</td></tr><tr><td>その他</td><td>11%</td></tr></tbody></table>	地域	割合 (%)	北米	44%	日本	20%	アジア	18%	欧州	7%	その他	11%												
地域	割合 (%)																								
北米	44%																								
日本	20%																								
アジア	18%																								
欧州	7%																								
その他	11%																								

<選定コメント>	ホンダイズムは健在。アジア市場で二輪の販売が好調。本田宗一郎さんの悲願だった航空機事業に進出し、ホンダジェットを海外で販売、運用する事業が立ち上がることを期待。ホンダジェットは、とてもかっこいい！
----------	--

4. 日経ストックリーグで学んだこと

私達は、今回、日経ストックリーグに参加したことで、日経新聞の情報をもとにして、企業のホームページの閲覧をしたり、為替や株価の動きを学習する機会を得ることができました。その活動の中で、世界を動かしている経済の動きが実は身近なものであることを知りました。毎日、株価を確認することで、世の中の出来事と株価の連動性が良く分かり、株価が経済を見る指標として重要なものであることを肌で感じたのです。

私達は、日本企業のイノベーションをテーマに掲げていたので、新技術や新ビジネスの記事に特に目がとまり、日本企業が持つさまざまな新技術をととても頼もしく思いました。日本企業がグローバル市場を視野に入れたイノベーション体制を推進していることや、地球環境にも配慮したもののづくりを行っていることも分かりました。

2011年は、東日本大震災やタイの洪水、円高等、日本企業にとって、とても厳しい状況でしたが、昔から不可能と思われる課題に果敢に挑戦し克服して、今の日本経済があることを思うと解決できる可能性を感じます。

トヨタ自動車が開発を始めた頃、誰もがその実現は不可能だと思っていました。一人一人の技術者の努力が一つ一つの課題を克服することで技術を蓄積し、国産車の開発に成功することにつながりました。その中で、製品開発には、製品の完成までチームをまとめ、リードしていく責任感のあるリーダーの存在が不可欠であったことも分かりました。

アップルコンピュータのスティーブ・ジョブズ氏は、技術者ではありませんでしたが、ジョブズ氏は、そのビジョンとリーダーシップでアップルに集まった天才的な技術者の能力を最大限に発揮させることで、iPhone や iPod を開発しました。iTunes や iPod でソフトとハードを融合させ、音楽の著作権問題を解決して iTunes Store で音楽市場も創出したジョブズ氏の手腕は、これからの日本のものづくりでも参考になる点が多いと思います。アップルの本社は、サンフランシスコのシリコンバレーにあり IT 企業が集積している地域です。スタンフォード大学を中核として HP、Apple、Google 等のベンチャー企業が誕生しました。世界から有能な人材が集まり、交流することで新たなビジネスチャンスが生まれたのだと思います。浜松地域とシリコンバレーとは、産業の集積や、中核となる大学や、よそ者の活躍等、ベンチャー企業が生まれるための共通点が見いだせます。このことも驚くべき発見でした。

12月14日の日経新聞で、「ヒッグス粒子 発見へ前進」の記事が掲載されました。40年以上も前に提唱されたヒッグス粒子が見つければノーベル賞級の成果だそうです。この検出器のセンサーのほとんどは浜松ホトニクス製であることを知り、とても誇らしい気持ちになりました。

私達も、将来、それぞれの道でリーダーシップがとれるよう、「やрмаいか精神」で努力していきたいと思ひます。

参考文献：

- ・日経新聞
- ・日経会社情報 2011 夏号、秋号
- ・日経業界地図 2011 年版
- ・日経ビジネス ニッポンの稼げる技術 100
- ・日経ビジネス 確実に来る未来 100
- ・「本田宗一郎 夢を力に」 日経ビジネス文庫
- ・「浜松企業」強さの秘密 竹内宏 編著 東洋経済新報社
- ・プロジェクト X14 命輝けゼロからの出発 「制覇せよ 世界最高峰レース」
- ・プロジェクト X18 勝者たちの羅針盤 「執念のテレビ 技術者魂 30 年の闘い」
- ・プロジェクト X19 情熱が奇跡を呼んだ 「衝撃のカミオカンデ 地下 1000m の闘い」
- ・プロジェクト X23 走破せよ大志への道 「われら茨の道を行く 国産乗用車・攻防戦」
- ・スティーブ・ジョブズ I、II ウォルター・アイザックソン 講談社

参考サイト：

EDINET：<http://info.edinet-fsa.go.jp/>

本田宗一郎ものづくり伝承館：<http://www.honda-densyokan.com/>

スズキ歴史館：<http://www.suzuki-rekishikan.jp/>

豊田佐吉記念館：http://www.toyota.co.jp/jp/about_toyota/facility/sakichi/

高柳記念未来技術創造館：<http://www.nvrc.rie.shizuoka.ac.jp/takayanagi/>

3402 東レ：<http://www.toray.co.jp/>

4021 日産化学工業：<http://www.nissanchem.co.jp/>

4188 三菱ケミカルホールディングス：<http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>

5333 日本ガイシ：<http://www.ngk.co.jp/index.html>

6501 日立製作所：<http://www.hitachi.co.jp/>

6503 三菱電機：<http://www.mitsubishielectric.co.jp/>

6965 浜松ホトニクス：<http://jp.hamamatsu.com/>

6971 京セラ：<http://www.kyocera.co.jp/>

7012 川崎重工業：<http://www.khi.co.jp/>

7012IHI：<http://www.ihi.co.jp/>

7102 日本車輛製造：<http://www.n-sharyo.co.jp/>

7203 トヨタ自動車：<http://toyota.jp/>

7267 本田技研工業：<http://www.honda.co.jp/>